allcinema

アタラント号（1934）

L'ATALANTE

メディア　映画
ジャンル　ドラマ
製作国　フランス
色彩　B&W
時間　101分
初公開日　1991/11/15
公開情報　ＫＵＺＵＩ
リバイバル　2018/12/29［アイ・ヴィー・シー］（4Kレストア版）

【解説】

９０年にほぼ原型に近い形に修復された版（従って本篇の前に、そのいきさつの解説が若干つく）の公開によって、日本でもようやく一般に見られるようになったＪ・ヴィゴの傑作である。アタラント号とは、ル・アヴールとその上流の田舎町を往復している艀。その若き船長の新妻が都会の誘惑にかられ、パリに近づいた折りにこっそり抜け出すが、怒った夫は彼女を置いて出航する。しかし、愛妻なしの彼はまるで腑抜けで、急に川に飛び込み、彼女の幻影を見たりしている。一方、妻はひったくりにあい、帰るに帰れず、同船している老水夫ジュール親爺（Ｍ・シモン）により、ようやく探し出される。話は俗なものだが、詩的で自由奔放な表現、キャラクターが際立つ肉体性の把握、溢れるユーモア……映画の官能が蒸気となって観客を包み込んでしまう、これは聖なる映画と言えるかも知れない。何度観てもはぐらかされ、不安なときめきを覚える。幼い子供と遊ぶのに似た、つき詰めようのない快楽を帯びた映画。Ｍ・シモンの醜い外見に惑わされてはいけない。彼こそが天使だ。

【クレジット】

監督	ジャン・ヴィゴ	Jean Vigo
製作	ジャック＝ルイ・ヌネーズ	
脚本	ジャン・ジェミール	
撮影	ボリス・カウフマン	Boris Kaufman
音楽	モーリス・ジョーベール	Maurice Jaubert
出演	ディタ・パルロ	Dita Parlo
	ジャン・ダステ	Jean Daste
	ミシェル・シモン	Michel Simon
	ルイ・ルフェーブル	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.